

## 国立大学法人島根大学経営協議会（第53回）＜議事要録＞

日 時 平成24年11月20日（火）14:00～16:05  
場 所 本部5階大会議室  
出席者 小林学長，塩飽理事，竹内理事，井川理事，両角理事，江口理事  
有澤委員，大谷委員，梶田委員，近藤委員，中村委員，間宮委員  
〔陪席：山崎監事，外国語教育センター廣瀬副センター長，教育開発センター  
松田准教授（廣瀬副センター長及び松田准教授は協議事項1のみ陪席）〕

### 協議事項1. 英語高度化プログラムについて

- 教育開発センター松田准教授から資料により，グローバル人材育成の取り組みの一つとして導入する松江キャンパスでの英語高度化プログラムの概要及び医学部での3Eプログラム，並びにこれらのプログラムによって新たに展開する授業科目，課題活動，海外体験及び学習支援等について説明があった。
- 続いて学長から，本プログラムの目的は英語をツールとして学生にグローバルな体験をさせることであり，今後できるだけ多くの学生に短期・長期の海外留学を体験させること，また，海外からの留学生を増やし，学生寮での混住等学内でのグローバルな交流の場を増やすことについて説明があった後，意見交換が行われた。
- 委員から次のとおり意見があった。
  - ・目標がはっきりしており，非常に良いプログラムである。できれば対象となる学生40名全員を海外留学させることを目指してほしい。学生にもそのような自覚を持たせて取り組む方が効果的である。
  - ・学生寮での留学生との混住に関しては，留学生と交流しないと生活できないような環境設定を行ってほしい。
  - ・学生の海外留学を増やすためには，従来のやり方に加え，若い人達にアピールできるような付加価値を加える工夫が必要である。
  - ・副専攻としての本プログラムに医学部の英語教育を含めるのは異質な感じがする。医学部の英語教育については，本プログラムとは別に考えた方が良いのではないか。
  - ・単なる語学としての英語教育ではなく，学生が自身の研究を進めるためのツールとして英語を学ぶ意識を持つことが重要である。

### 協議事項2. ミッションの再定義について

- 塩飽理事から資料により，今年度先行して実施される教員養成，医学及び工学の3分野に係る国立大学のミッション再定義について，この3分野に該当する教育学部，医学部及び総合理工学部の沿革，設置目的，強みや特色，社会的な役割等について説明があった後，意見交換が行われた。
- 委員から次のとおり意見があった。
  - ・かつて島根大学の教育学部特音課程が地域の音楽教育に多大な功績を残したように，伝統的に島根大学が強みとして持っている点をもっと強調すると，地域に必要とされている大学であることが明確になるのではないか。
  - ・過疎先進地域にある大学として，高齢者の労働・雇用に係る研究を行って欲しい。
  - ・総合理工学部の資料に，融合がキーワードとして使っているが，これは抽象的なイメージを与えるのではないか。例えば，医・理工連携のような異なる分野が共通で持つことのできる，具体的で高い目標を入れて欲しい。
  - ・島根大学の強みは，少人数でのきめ細かい教育や学生と教員の距離の近さであるので，一

方通行ではなく双方向の授業を行って欲しい。特に法務研究科で行っている双方向の授業は一定の効果が認められるので、ぜひ今後の教育に生かして欲しい。

**議 題 1. 匹見演習林の土地の一部譲渡について**

**議 題 2. 中期計画の変更について**

- 学長から資料により、島根県から申し入れのあった本学匹見演習林の土地の一部譲渡及びこれに伴う中期計画の変更について、譲渡に至った経緯及び中期計画の変更内容等について説明があり、審議の結果承認された。

**議 題 3. 国立大学法人島根大学職員退職手当規程の一部改正について**

- 両角理事から資料により、「国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律」に準じ、本学職員退職手当規程を改正することについて、支給水準の引き下げの概要及び新たに導入される早期退職募集制度の概要、並びに本学職員退職手当規程の改正内容等について説明があり、審議の結果承認され、今後過半数代表者等との交渉を進めることが確認された。

**報告事項 1. 平成 23 年度に係る業務の実績に関する評価結果について**

- 塩飽理事から資料により、国立大学法人評価委員会から通知のあった平成 23 年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

**報告事項 2. 古代出雲文化フォーラムについて**

- 学長から資料により、来年 3 月に開催する古代出雲文化フォーラムについて、本フォーラムに係る広報の概要及び応募状況等について報告があった。
- 委員から次のとおり意見があった。
  - ・応募状況をみると高年齢の方が占める割合が高い。大学が主催するフォーラムなので、今後は若年層をターゲットとしたテーマを設定するなどの工夫をお願いしたい。
  - ・今後島根大学が「出雲学」を柱に様々な取組みを進める上で、例えば改修後の附属図書館で「出雲」をテーマにした企画展の開催や、生協書店での「出雲」関連書籍の充実を図って欲しい。

**報告事項 3. その他**

- 両角理事から、平成 24 年人事院勧告の動向等について報告があった。